

はじめまして。カッコイイ自分

ハンデがあっても ドローンを学べる!



障がいをお持ちのご本人・ご家族とすたーとする支援事業

先着**6名様**限定 (ご家族で参加OK!)

日曜日: 10時~12時 1日**2~3回**開催

**参加費
無料**

トイドローンの基本操作と注意事項のレクチャーです。
実際に機体をコントロールして撮影もできます。

講師は自身も左半身麻痺の障がいを抱えながらも、仲間とドローンに取り組み、日本でも数少ない障がい者でも活躍できる「ユニバーサル・ドローン」を提唱する広島県ドローン協会の先城伸二氏が務めます。



日程は広島県ドローン協会HPをチェック!
詳しくはお問い合わせ下さいませ。

広島県ドローン協会

私たちはドローンを通じた支援活動を行います

左半身麻痺のドローン操縦士
先城伸二さん



半身麻痺のハンディキャップを仲間と超えた経験

2014年に脳卒中で倒れましたが懸命なリハビリと周囲の助けにより社会復帰できましたがまだまだ元通りにはなっていません。
今は広島県ドローン協会に所属し、体験会、練習会、イベント、空撮、映像製作などに参加しています。僕はこの病気になって人に助けられてばかりで普通の人と同じようなこと(仕事、スポーツなど)やっても到底追いつけませんし、負い目を感じていましたが新しいこと(技術、スマホ、AI、ドローン)は、普通の人にとって初めてだし上手くもなければわからないことだらけのものならスタートラインは同じだと感じました。何かができそう感があるけどドローンは、空を飛んでカメラがついている機械に過ぎません。重要なのは「どう使うのか何に使うのか」つまり『ドローン×何か』なのです。僕はここに『ドローン×障がい者』でここまでやってきてます。
僕でも出来た。だからあなたもできる。やりたいけどできなければ一緒にできる方法を考えましょう。

広島県ドローン協会が支援する新しい就労を

広島県ドローン協会
会長 上杉繁樹



人間が空をはばたく夢を実現してくれるドローンを、老若男女問わず多くの方に体験していただきたいと思っています。様々なテクノロジーを駆使した便利な道具が誰の手にも届くように、そして誰もが安全に扱い、世の中の多くの方々に役立てる未来を私たちは描いています。あなたやあなたのご家族にハンディキャップがあっても、その夢を体験してもらえる場を用意いたしました。お気軽にご参加ください。

広島県ドローン協会
理事 北川慶祐



ドローン操縦方法とドローン運用方法を習得すると、あなたにしかできないことを仕事にできる可能性が広がります。社会や周囲の人、ご自身の考えによって制限されている「できること」を拡げていただき、あなた自身とドローンの一層の活躍を期待しています。

